

1. 単元名 振り返り

2. 本時の概要

本時は、中学1年生が取り組んできた「図書館を使った調べる学習コンクール」の活動を総括し、次年度の新たな探究ステップへの動機付けを行う重要な節目である。これまで生徒は自身の興味関心に基づき、個人的な問いを深めてきた。しかし、中学2年生では「全国中学高校Webコンテスト」という外部コンテストへの挑戦が控えており、そこでは3～5名のチームで協働し、他者の視点や社会的な課題解決を意識した成果物の制作が求められる。過去に多くの先輩が日本一を受賞している本コンテストへの参加は、生徒にとって高い志を持つきっかけとなる。したがって、本時の前半では次年度の活動概要と「学習教材」「問題解決」という2つの作品区分を提示し、個人の探究から「社会に目を向ける」「他者と協働する」活動への視点の転換を促す。後半では、これまでの活動を振り返るフォーム入力と、資質・能力を測定するSSコンピテンシー質問紙調査を実施することで、自身の成長と課題を客観的に把握させる。これらを通じて、1年間の学びを整理するとともに、次年度の協働的な探究学習に向けた主体的な構えを形成することを目的として、本主題を設定した。

3. 本時の目標

- **自身の探究スキルや興味関心の広がり振り返る:**これまでの「図書館を使った調べる学習コンクール」の活動プロセスを振り返り、自身の探究スキルや興味関心の広がり客観的に分析し、今後の課題を明確にすることができる。
- **次年度のチーム協働への広がり認識する:**次年度に取り組む「全国中学高校Webコンテスト」の概要を理解し、個人の探究から「社会的な問い」や「チームでの協働」へと視点を広げる必要性を認識することができる。
- **自己の資質・能力の現状を把握:**SSコンピテンシー質問紙調査を通じて、自己の資質・能力の現状を把握し、次年度の探究活動や将来に向けた自己研鑽への意欲を持つことができる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第22回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	【本時の流れの確認】 本時の活動予定について、スライドを用いて確認を行う。具体的には、前半で「次年度の活動について」の説明を受け、後半で「本時の活動（振り返り）」に取り組むという全体の構成を把握する。	・ 本時の見通しを立たせ、スムーズに活動へ移行できるよう簡潔に説明を行う。 ・ 端末の準備ができているか確認を促す。
14分	【次年度の活動についての理解】 中学2年生で参加する「全国中学高校Webコンテスト」の概要を確認する。3～5名のチーム制であることや、過去の先輩の実績、作品の2つの区分(学習教材・問題解決)について知る。個人の興味を社会の問題へと視座を高める準備を行う。	・ 先輩の受賞実績を具体的に紹介し、生徒の挑戦意欲を喚起する。 ・ 「社会に目を向ける」「他者と協働する」という次年度の最重要キーワードを強調し、個人の活動との違いを意識させる。 ・ 過去の受賞作品のURLを提示し、制作物の具体的なイメージを視覚的に持たせる。
35分	【振り返りと質問紙調査の実施(前編)】 「図書館を使った調べる学習コンクール」の振り返りフォームに入力し、自身の探究過程を総括する。入力完了後はSSコンピテンシー質問紙調査を実施する。全ての課題が終了した生徒から、静かに自習に取り組み、個別の進捗に合わせる。	・ 振り返りフォームと質問紙調査へのアクセスを円滑に行えるよう巡回してサポートする。 ・ 単なる感想ではなく、自身の学びや変化を具体的に記述するよう促す。 ・ 早く終わった生徒が自習に集中できるよう、教室内の静穏な環境を維持する。
【2時限目】		
50分	【振り返りと質問紙調査の実施(後編)】 前時に引き続き、振り返りフォームの入力とSSコンピテンシー質問紙調査を進める。自身の内面的な成長や課題を丁寧に見つめ直し、1年間の探究活動を完成させる。完了後は各自で学習を深める時間とする。	・ 未完了の生徒が最後まで集中して取り組めるよう、個別フォローを継続する。 ・ 回答の送信漏れがないか確認を徹底する。 ・ 質問紙調査が自己の資質向上に繋がることを意識させ、真摯な回答を促す。